

クーデック®バイロン

バイロン・排液処理容器


品番	品名	入数	備考
BYR-BA3501G	バイロンライナー凝固型3.5L	60本	凝固剤あり

バイロン・付属消耗品

品番	品名	入数	備考
BYR-KP628UL	バイロン切替チューブLコネクタ付	30個	バイロン専用Lコネクタ付自動切替チューブ
BYR-BF0101A	バイロン配管保護装置	1個	配管保護用フローストッパー
DKI-RD920	排液凝固剤	30本	1本あたり220g入り

バイロン・付属備品

品番	品名	入数	備考
BYR-BC3501B	バイロンキャニスタ3.5Lタイプ	1本	バイロン専用3.5Lキャニスタ
BYR-BT3502A	バイロントロリー3.5L2本タイプ	1台	3.5Lキャニスタ2本用トロリー
BYR-BR3001A	バイロンレギュレータユニット	1台	バイロントロリー専用レギュレータユニット
RD-822KC	配管アダプター	1個	ピン式(川重・ユニ式)
RD-822A	配管アダプター	1個	シュレーター式(アムコ式)

- ご注文はケース・セット単位でお願いします。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
- 詳細は添付文書・取扱説明書をご参照ください。禁忌・禁止を含む使用上の注意の改訂に十分ご注意ください。
- バイロントロリーは医療機器ではありません。
- クーデック、COOPDECH、BYRON、は大研医器株式会社の登録商標です。



COOPDECH

クーデック®バイロン

- ライナーが使いやすくコンパクトに進化しました。
- 吸引量を電子計量しタッチパネルモニタに表示します。
- マーク機能により排液の種類を変更・追加して記録できます。
- 連続吸引モードにより強い吸引力が維持できます。
- 連続吸引モードにより吸引中にライナーを交換することができます。

一般医療機器 特定保守管理医療機器 一般的名称：真空吸引器
医療機器届出番号：27B1X00013000008 販売名：クーデックバイロン

 大研医器株式会社



BYRON®



製造販売業者

 **大研医器株式会社**
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2

本社 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2 TEL 0725-30-3150
(製品に関するお問い合わせは、下記営業窓口にご連絡ください)
札幌支店 〒001-0010 札幌市北区北十条西4-1-19 楠本第10ビル7F TEL 011-708-3060
仙台支店 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7 K2小田急ビル6F TEL 022-214-4561
さいたま支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-1 YK-10ビル7F TEL 048-650-9925
東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル7F TEL 03-5835-5011
横浜支店 〒220-0004 横浜西区北幸2-9-40 銀洋ビル5F TEL 045-872-0700
名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル7F TEL 052-559-1286
金沢営業所 〒920-8203 金沢市鞍月5-181 AUBE 4F TEL 076-238-9950
大阪支店 〒540-0036 大阪市中央区船越町1-6-6 レナ天満橋ビル7F TEL 06-6943-1161
広島支店 〒732-0827 広島市南区福荷町5-18 三共福荷町ビル2F TEL 082-568-2377
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-10-15 博多駅東アトルビル5F TEL 092-481-1751
COOPDECHの製品情報はホームページでご覧いただけます→ <http://www.daiken-iki.co.jp/>

代理店



この印刷物は、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。

2020.11

カタログ記載内容2020年11月現在
(2011B)

BYRON

排液管理がより厳しく求められる時代に応える新たなスタンダード。
排液を計量し記録することで排液管理がより簡便になります。



【タッチパネルで排液管理】

従来は手書きで行っていた排液管理をタッチパネル上で行うことができます。
マーク機能により、排液の種類を変更・追加して記録することができます。
記録された履歴は確認・編集も容易です。



履歴画面

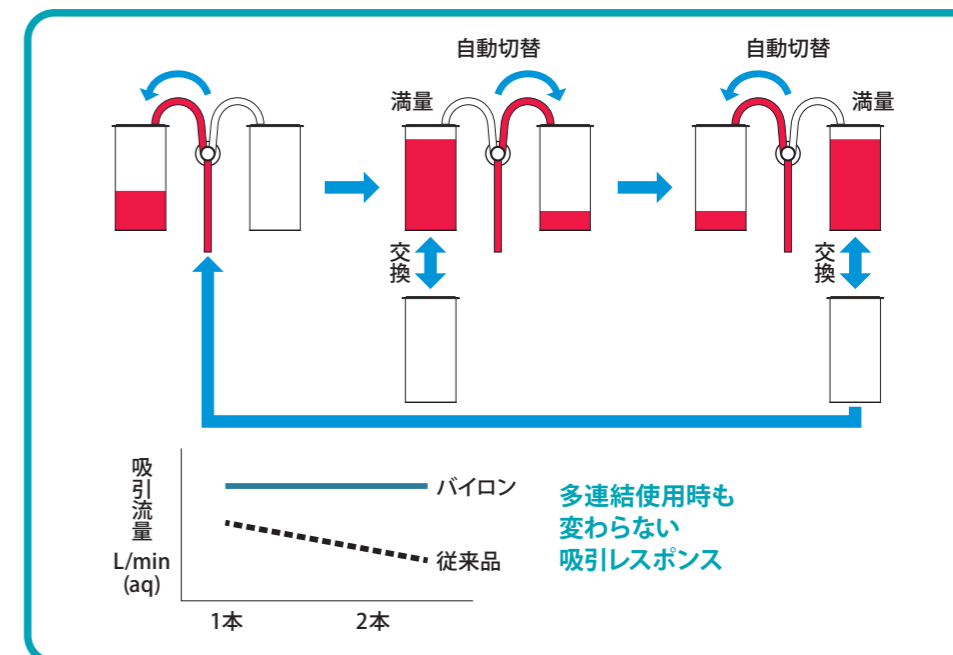


詳細履歴・履歴編集画面



【吸引ライナーを多連結することで生じる吸引力の低下を解決】

連続吸引モードにより、吸引するライナーが満量に達すると吸引流路が自動で切り替わり、常にライナー1本で吸引できます。これにより、連結による吸引力の低下を解消しました。
また、満量に達したライナーは吸引を止めずに交換できます。予備の吸引器を準備する必要がありません。



BYRON



ライナーがより使いやすく、コンパクトに進化しました

チューブの接続が1箇所のため誤接続の心配がありません。凝固剤はワンアクションで簡単に投入できます。またプレ・ファイナルの区別がなくなったことで、2種類のライナーを管理する必要がなくなりました。さらにライナーは伸ばさずセットでき、吸引圧をかけると自動で伸び広がるため手間がかかりません。そして取手や底蓋を採用し、取り出しやすさや仮置き時の自立性にも配慮しました。





レギュレ-タユニット

トロリーに取り付けることで吸引圧力の調整が可能になります。

※特定保守管理医療機器



配管保護装置

排液が配管に侵入するのを防ぎます。



切替チューブ

ライナーを自動で切り替えるためのチューブです。

※連続吸引モードのみ使用

How to Use



1 吸引源に接続します。



2 ライナーをキャニスタにセットします。



3 切替チューブをセットします。



4 電源を入れます。



5 吸引モードを選択します。
※デフォルト設定でこの手順を飛ばすことも可能です。



6 切替チューブに吸引チューブを装着します。



7 吸引スタートボタンを押し、吸引を開始させます。



8 吸引する排液を選択します。
※デフォルト設定でこの手順を飛ばすことも可能です。



9 吸引が終わりましたら、吸引ストップを押して吸引を終了します。



10 一体型の場合は凝固剤を投入します。



11 取手を持ち、ライナーを引き抜きます。院内の規定に従い、廃棄してください。

並列で吸引することも可能です。